2015 年日本国内及び日系海外のボンド磁石生産・需要動向

企画委員長
㈱メイト
石田　知久

日本国内におけるボンド磁石の生産は、上半期好調だったものの下半期は中国景気の減速などの影響がみられた。国内生産のボンド磁石の合計量は 11,970 トンから 11,370 トンへ減少したとみられる。また日系メーカーの海外生産については国内と同じように車載用途の伸張がみられるものの、中国国内景気の鈍化や希土類需要減なども相まって微減と推定した。

分野別動向を以下に記す。

1.　フレキシブルフェライトボンド磁石

2015 年の国内生産は前年比横ばいの 3,240 トンと推定する。金額についても前年比横ばいの 23 億円と推定する。

PC 出荷台数の減少に関係してボックスファンなどの巻込み式モータ用途に使われる磁石の減少はみられる。しかし、新規用途および中国などの人件費高騰の影響から価格的に対応可能になってきていること、吸着・雑貨用途の新たな需要増がボックスファンの減少と相殺するかたちとなっている。

また日系メーカーの海外生産についても 2015 年の金額は前年比横ばいの 11 億円と推定する。

2.　リジッドフェライトボンド磁石

2015 年の国内生産は前年比 10% 減の 6,730 トンと推定する。回転機や自動車用途の伸長はみられるが、最大用途であるプリンタ・複写機のマグネットロールについて、モノクロの出荷が落ち込んでいることが主要因。金額についても前年比 10% 減の 104 億円と推定する。

日系メーカーの海外生産は国内同様の理由と考え、金額は前年比 90% の 85 億円と推定する。

3.　希土類ボンド磁石

2015 年の国内生産は前年比 12% 増の 1,400 トンと推定する。希土類異方性材料の拡大や車載用途の伸長が要因。金額についても前年比 12% 増の 274 億円と推定する。

日系メーカーの海外生産は、車載用途が安定しているが、ODD 用途の激減やタブレット端末需要増に伴う HDD の需要減が響き、金額は 2% 減の 500 億円と推定する。

【フレキシブルフェライトボンド】

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
2012 年	2,500	98%	1,880	99%
2013 年	2,700	108%	1,890	100%
2014 年	3,240	120%	2,300	122%
2015 年	3,240	100%	2,300	100%

【リジッドフェライトボンド】

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
2012 年	6,000	88%	9,100	89%
2013 年	6,800	113%	10,300	113%
2014 年	7,280	110%	11,600	112%
2015 年	6,730	90%	10,400	90%

【希土類ボンド】

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
2012 年	800	114%	---	---
2013 年	900	113%	17,100	---
2014 年	1,250	139%	24,500	143%
2015 年	1,400	112%	27,400	112%

【日系メーカーの海外生産金額】　　単位　：百万円

	フレキシブル	リジッド	希土類	合計
2012 年	460	8,500	---	---
2013 年	1,050	9,400	50,000	60,450
2014 年	1,100	9,400	51,000	61,500
2015 年	1,100	8,500	50,000	59,600